

令和 7 年 12 月 定 例 会
文教厚生委員会録

開催日時 令和 7 年 12 月 16 日（火曜日） 午前 10 時から

場 所 全員協議会室

付託案件 議案第 58 号
有田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

出席委員 一ノ瀬敦子委員長・川島 強副委員長
福永広次委員・児嶋清秋委員・岡田行弘委員
成川 満委員・嶋田 英委員

生駒議長

当 局

市民福祉部 上田敏寛市民福祉部長・松村尚彦市民福祉部参事
大浦秀和市民課長・桃井克博こども課長
上村泰広福祉課長・福永康一保険年金課長
吉野有美健康推進課長・網谷彰洋高齢介護課長
前川加津子育て推進係長・沖並由紀子保険年金係長
岩崎知佳保険給付係長

水道事務所 北野宏幸水道事務所長・馬倉三喜水道課長

教育委員会 伊藤正人教育次長・泉 泰朗教育委員会参事
生駒卓司生涯学習課長・中西朋子統括教育指導主事
伊藤めぐみ総務係長

経営管理部 南村尚史総合行政委員会事務局長

議会事務局 嶋田実明局長・石井義人次長・大谷真也書記

開 会

○一ノ瀬委員長： ただいまより文教厚生委員会を開催します。

当委員会に付託されました議案第 58 号、有田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例を議題といたします。

当局の説明を求めます。

○福永保険年金課長： 議案第 58 号

有田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の説明

○一ノ瀬委員長： 説明は終わりました。

次に、質疑を認めます。

御質疑ありませんか。

○成川委員： 条例の説明を聞きました。幾分か値上げになってるんですけども、現在の国保の基金残高と、今後どのように推移していくかについての見通し、傾向等について大きな話で、説明していただきたい。

○福永保険年金課長： まず基金残高でございますけれども、令和6年度末現在で約6億円でございます。

今後の見込みにつきましては、ここ5年間の基金の取崩しの推移を見てみますと、年間約1億円前後取崩してる傾向がございますので、単純に見ていきますと、約5年間余りで基金のほうも、残額が少なくなってくるという見通しでございます。

○成川委員： 了解です。

○一ノ瀬委員長： ほかに御質疑ありませんか。

○岡田委員： 参考にお聞きしますが、有田市の国保税率の水準は他市町村と比べて、どのレベルになっていますか。

○福永保険年金課長： 町村までは詳しく把握してございませんが、県内の9市で申し上げますと、先ほども申しましたけれども、有田市は基金を有効に活用させていただいておりますので、9市の中では税率、税額ともに低いレベルに位置していると把握しております。

○岡田委員： 今回、負担が増えるということですがけれども、それに対して減税や軽減措置などの考えなどはあるのでしょうか。

○福永保険年金課長： 国保税につきましては、現行も所得によりまして、7割軽減、5割軽減、2割軽減の制度がございます。今後も引き続き、軽減につきましては、その制度を準用していくことになると思っております。

○岡田委員： 了解しました。

○一ノ瀬委員長： ほかに御質疑ありませんか。

○委 員： なし。

質疑終了 採 決 (可 決)

閉 会 午前10時15分